

国立国際医療研究センター 臨床ニーズマッチング会 (2019年度 第3回クラスター研究会)

開催報告

2019年9月17日(火) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター(以下NCGM)にて、東京都医工連携HUB機構と臨床機関とのクラスター研究会を開催いたしました。NCGMから25名の医療者の方々、ものづくり企業、製販企業、臨床機関、研究機関、行政・支援機関などから114名の方にご参加いただきました。開会では、国立国際医療研究センター病院長 杉山 温人先生、東京都産業労働局商工部長、閉会では、国立国際医療研究センター 医工連携推進室 室長 丸岡 豊先生よりご挨拶いただきました。お忙しいなかご来場いただき、ありがとうございました。

クラスター研究会

第1部では、総勢14名の医療者の方々にご登壇いただき、医工連携の基調講演と臨床ニーズ、計20テーマをご発表いただきました。各発表におかれては、臨床現場の現状や具体的なお困りごと、医療者の方々の熱い思いをお話しいただきました。



医工連携基調講演

国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏 先生よりご講演いただきました。



臨床ニーズ発表

丸岡 豊先生から1件、長阪 智先生から1件、桂川 陽三先生から1件、多田 敬一郎先生から1件、永原 幸先生から1件、十九浦 礼子先生から2件、宮崎 英世先生から1件、竹村 信行先生から1件、坂倉 悠哉先生から1件、宝来 哲也先生から1件、大石 元先生から1件、山田 和彦先生から4件、田山 二郎先生から4件、計20テーマについて発表頂きました。また国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏先生と日本医工ものづくりコモンズ 理事長 谷下 一夫先生には特別発言として基調など意見を頂戴いたしました。



医療者等との交流会

交流会では、ご発表いただいた医療者の方々と参加者による名刺交換、および情報交換が活発に行われました。NCGMの臨床ニーズを起点とした開発品を中心に、企業による展示、紹介をおこないました。次回以降も交流会を開催し、臨床機関の医療者の方々とご参加される企業との意見交換の場として、ご活用していただく予定です。



■ 開発品の展示、紹介を行っていただいた企業

株式会社フジタ医科器械 株式会社三洋
株式会社ベテル JRCS株式会社



★ご参加いただいた皆様からのご意見・ご感想★

- ・現場(各診療科) の色々な要望を直接聞いてよかった。
- ・國土先生、谷下先生のコメントはとても参考になりました。
- ・成果を展示してPRするのは良いと感じました。

皆様からのご意見を参考に、クラスター研究会をより充実した内容にしていきたいと思います。